

令和8年2月16日
国土交通省
九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

内外水統合型の多段階浸水想定図・水害リスクマップを公表 ～大淀川・小丸川での流域治水の取り組みを加速化・深化～

宮崎河川国道事務所では、大淀川水系及び小丸川水系の国管理区間からの氾濫のほか、支川からの氾濫や下水道等からの内水氾濫を考慮した「内外水統合型の多段階浸水想定図^{※1}及び水害リスクマップ^{※2}」を公表します。

本取組は、土地利用や住まい方の工夫、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討及び企業の立地選択など、流域治水の取組を推進することを目的としています。

※1 多段階浸水想定図

想定最大規模に加え、より頻度の高い複数の降雨規模ごと（年超過確率 1/10・1/30・1/50・1/100・1/150 年）に作成した浸水想定図のこと

※2 水害リスクマップ

多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模ごとの浸水範囲を浸水深ごと（0m以上、0.5m以上（床上浸水相当以上）、3.0m以上（1階居室浸水相当以上））に重ね合わせて作成した図面のこと

<多段階浸水想定図・水害リスクマップについて>

- ・宮崎河川国道事務所のホームページ（下記 URL）より閲覧可能です。

<https://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/kasen/bousai/suigairiskmap.html>

※同時に、延岡河川国道事務所において五ヶ瀬川水系の水害リスクマップを公表しています。

（問い合わせ先）

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所



流域治水

技術副所長 横山 京人

流域治水課長 山崎 幸栄

TEL：0985－24－8221（代表）

PCホームページ： <https://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>